

◎ 循環器科

浜松労災病院

循環器分野で最近注目され、当院にも今年6月に導入された64列マルチディテクターCT(MDCT)についての紹介です。拍動する心臓の静止画像の描出を可能とし心臓CTあるいは冠動脈CTとも呼ばれるこの検査は冠動脈の狭窄やプラークの性状診断に優れ、従来心臓カテーテル検査だけでしか知り得なかった冠動脈の異常を外來検査として検出可能なものになりました。診断精度は感度94%、特異度97%、陰性的中率99%と極めて高い数字が報告されており、冠動脈疾患の診断に冠動脈造影の代替検査としての役割が期待されます。

心臓CTとCAG。どちらを優先して行なうかについて確立した基準はなく、施設ごとに事情や考え方の違いがあつて議論の分かれるところですが、おおまかには次の通りです。

- 1)急性冠症候群(ACS)でトポニTが上昇している場合はCAGが優先。
- 2)トポニTの上昇はないが経過、運動負荷心電図などから高度狭窄病変が疑われる時はCAG。
- 3)胸痛を有するが運動負荷心電図の変化が軽微(陰性含む)の場合はCT。
- 4)健診などで心電図異常を指摘。無症状で運動負荷心電図も陰性だが何らかの危険因子を有する場合はCT。運動負荷心電図陽性の場合はCAGかCT。
- 5)ステント留置後、バイパス術後の無症状の患者のfollow-up検査 → CTまたはCAG。

急性虚血が明らかな場合はCAG、安定した狭心症または運動負荷検査の結果が不確定な場合はCTといった具合で行なわれることが一般的です。1)、2)については施設によっては急性期から先にCTを実施するところもあります。一方で非定型的胸痛や心電図異常で受診し、運動負荷心電図が陰性で従来ならば外來で経過観察のみとなっていたような患者さん方に対して心臓CTを実施する機会が増えています。非侵襲性の外來検査という点で心臓CTは日常診療で頻繁に遭遇するこれらの層に対する冠動脈評価の実施率増加に寄与するものと思われま



心臓CTの撮影時は、拍動し続ける心臓の画質を少しでも良くするために心拍数を60分以下にまで減らす必要があります。通常これに対しては検査1時間前にβ遮断薬の内服を行ないます。従ってβ遮断薬が服用できない場合あるいは頻脈、不整脈のある場合などは実施できないことがあります。また高齢者で撮影時の息止め(約10秒)が困難な場合や石灰化が強い場合なども適応外とされます。

稼働開始後5ヶ月経過し心臓CTの実施件数は確実に増加しています。現在週4例の枠ですが以上のような有用性を鑑みて今後はさらに実施枠を増やしていく予定です。心カテほどの適応ではないが冠動脈の異常の有無を調べたいという患者さんがおられましたら是非ご紹介ください。(循環器科 森田泰弘)

◎ ホームページをリニューアル

コンピュータ社会の現在、パソコンユーザー、ほとんどの方が、インターネットに接続したことがあると思います。インターネットはコンピュータとコンピュータを結ぶ世界規模のネットワークです。その利用法にはさまざまなものがありますが、よく利用されるのが、「電子メール」と「ホームページ」です。厚生労働省が平成19年4月1日から施行した「医療機能情報公表制度」において、医療機関が限定された情報項目を各都道府県に提出しなければならなくなり、インターネットを使った情報公開は任意から義務へと変わりました。

当院では、数年前から、ホームページを公開し、随時、更新してきました。初版は、業者に委託して作成されたものです。青を基調とした非常にシンプルで、素朴なデザイン、文字も大きく、閲覧する方のモニター環境に配慮したつくりで、それなりの評価を受けていました。そして、看護部・放射線科の努力もあり、看護部ページの追加、放射線科ページのリンク追加と、その内容も充実してきました。

2007年4月から、ページの作成、情報更新など一括管理を、サービス向上委員会内、ホームページ小委員会が担当することになりました。高機能化するウェブブラウザなど、時代の流れに合わせて、細かな変更を重ねてきましたが、10月、全体的にトップページから一新しました。従来のシンプルなデザインを一部、踏襲しながら、より使いやすく、見やすく、リアルタイムに情報更新できることをモットーとしています。患者様向けに「外來受診のご案内」、「入院のご案内」など、初めて来院されてもスムーズに受診していただけるように、より親切な内容に更新していく方向です。

今後とも、ホームページをご覧下さいますようお願い申し上げます。

当院のホームページ <http://www.hamamatsuh.rofuku.go.jp/>

(公式ホームページ小委員会 床並房雄)

◎ 第53回浜松労災病院学術集談会の開催について

次により開催します。多数の先生方の参加をお待ちします。

- 1 日程 平成19年11月28日(水) 16:00~
- 2 場所 第1会議室
- 3 演題 一般演題
- 4 特別講演 「皮膚を診る」
17:45~18:30(予定)
町田皮膚科医院院長
町田 暁 先生

◎ 人事異動

(退職) 平成19年10月31日

循環器科 尾関 真理子

